

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2023年4月) —失業率は6%台半ばの低水準を維持

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

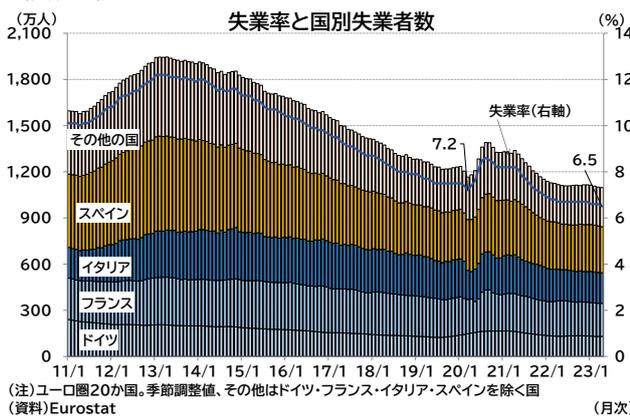
1. 結果の概要:失業率は6.5%にやや低下

6月1日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

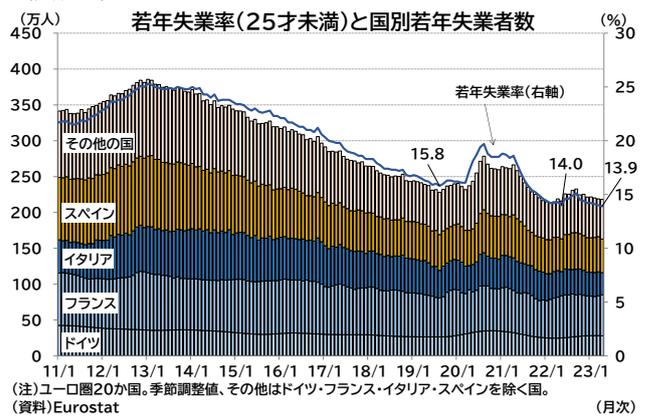
【ユーロ圏失業率（20か国、2023年4月、季節調整値）】

- ・失業率は6.5%、市場予想¹（6.5%）と一致、前月（6.6%）から低下した（図表1）
- ・失業者は1097.3万人となり、前月（1100.5万人）から3.2万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:若年失業率が13%台まで低下

ユーロ圏（20か国）の4月の失業率は6.5%で、3月（6.6%）からわずかに低下し、統計データ公表以来の最低値を更新した。また過去データは、3月がやや悪化方向に改定された（改定前6.5%→改定後6.6%）。

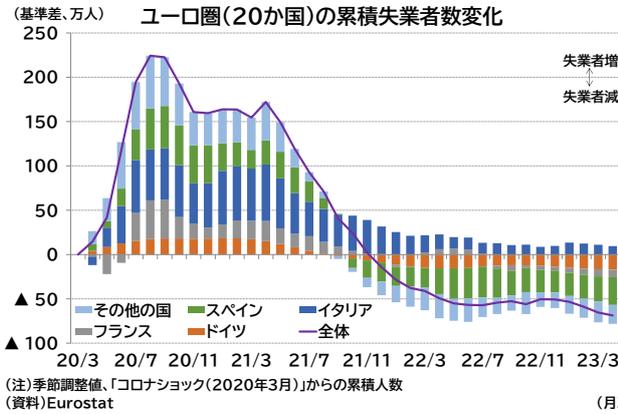
失業者数は4月の前月差で3.2万人減となり、22年12月以降5か月連続で減少した（図表3・4）。主要4か国のすべてで失業者数が減少、減少幅が大きい順にスペイン（▲3.0万人）、イタリア（▲1.5万人）、ドイツ（▲0.5万人）、フランス（▲0.4万人）だった。

4月の若年失業率は13.9%で、3月（14.0%）からさらに低下し、22年5月に記録したコロナ禍後の最低値（14.0%）を下回った（図表2）。なお、若年失業率の過去データは総じて改善方向に改定されている（3月改定前14.3%→改定後14.0%、2月14.4%→14.1%、1月14.4%→14.2%）。

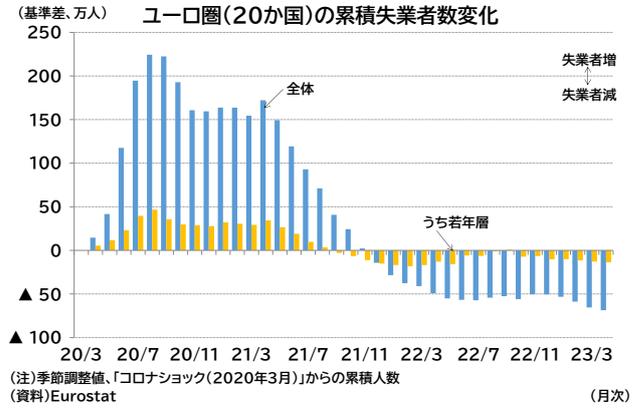
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

若年失業者数は4月で218.1万人（前月差▲0.8万人）となり、3か月連続で減少した。若年失業者数はコロナ禍後の最低値（213.6万人、22年2月）を上回る状況ではあるが、コロナショック直前の水準は下回っている（図表4）。

（図表3）

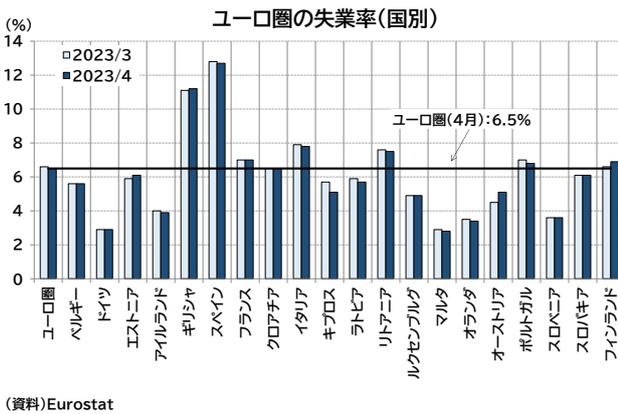


（図表4）

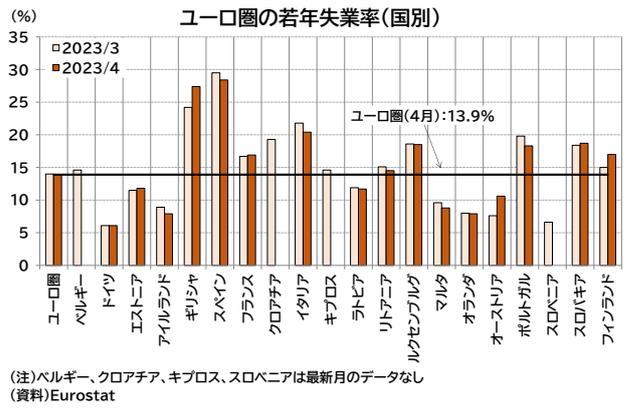


国別の4月のデータを見ると、失業率はデータが公表されている20か国中、悪化した国が4か国、改善が9か国、横ばいが7か国だった（図表5）。また、若年失業率は公表されている16か国中、悪化した国が6か国、改善が9か国、横ばいが1か国だった（図表6）。国によりバラツキはあるものの、4月は改善した国が多かった。

（図表5）

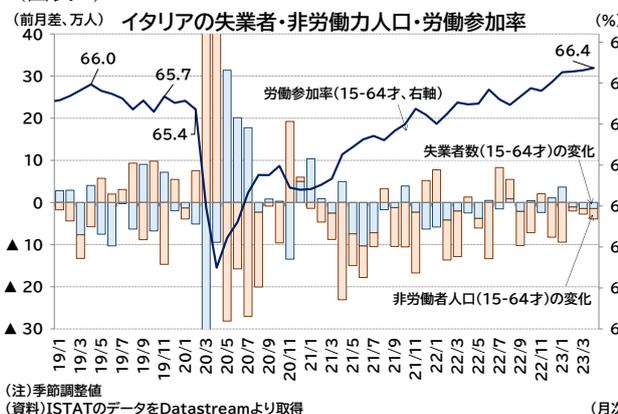


（図表6）

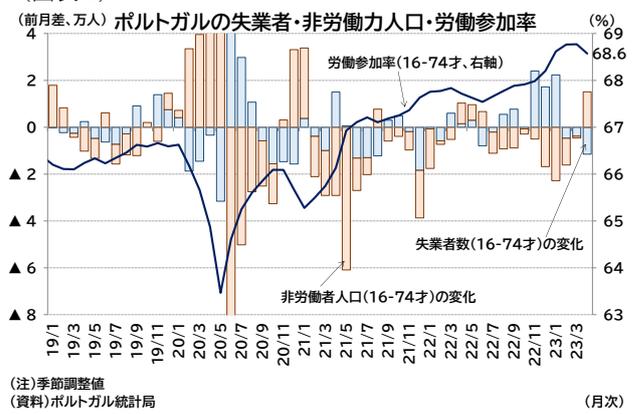


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者と非労働力人口が減少、就業者が増加した。ポルトガルは失業者が大幅に減少したが、それ以上に非労働力人口が減少したため、就業者も減少した（図表7・8）。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。